

2023年度 現場点検において確認された「良好な取組み」

- 効果的な注意喚起（ヒヤリ・ハット シールの活用）
- ICT（情報通信技術）を活用した安全かつ効率的なマネジメント

日本建設業連合会 安全委員会 海洋安全部会では、海洋工事現場の安全衛生、環境対策の推進のために全国の海洋工事現場から毎年数カ所を選び所属委員による点検を実施しています。

その際に、点検委員が確認した「良好な取組み」について取り纏めたものを紹介いたします。

■ 効果的な注意喚起（ヒヤリ・ハット シールの活用）

- ヒヤリ・ハット事例が発生した作業箇所に注意喚起のためのシールを掲示することで「**ここで危険なことが現実にあった（潜在的な危険因子が存在する）**」ということが視覚的にわかりやすく、作業員の危機意識の向上に有効に働くことが期待される。



■作業箇所が『沖合に離れた現場』や『広範囲に点在する現場』においてICTを活用した安全かつ効率的なマネジメントに取り組んでおり、職員の負担軽減も期待できるなど、2024年の労働時間規制（働き方改革）への対応にも繋がっている。

- ◇インターネットに接続したカメラを活用した効率的な現場監視
- ◇無料アプリを活用した、気象情報の共有
- ◇遠隔現場と事務所間のWEBを活用した効率的な情報共有
- ◇発注者の遠隔臨場（検査）も含めICTを活用した現場管理



沖合に離れた現場



監視カメラによる監視画面



作業箇所が点在する現場



会議でのWEB活用

監視カメラ
(バッテリー駆動)
による遠隔現場の確認



確かなものを 地球と未来に

一般社団法人 **日本建設業連合会**

JAPAN FEDERATION OF CONSTRUCTION CONTRACTORS

安全委員会 海洋安全部会